

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-05-09

なし

(発行年 / Year)

1910

スヘキモノト定メ尙本報告期間ニ付テ詳細ナル規定ヲ設ケタリ本条ニ於テハ凡ソ當事者ノ契約カ公益ヲ害スヘキ場合ノ外ハ成ルヘク之ニ干渉セサルヲ主義ヲ採リタルヲ以テ既成法典ノ規定ヲ採用セシ又獨乙民法第二讀會草案ノ規定モ其全部ハ之ヲ採用セズ本條第二項ニ定ムルカ如ク借主ノ何時ニテモ返還ヲ爲スコトヲ得ルモノトスルハ本邦ノ慣習ニ適スルモノト謂フヘシ又第一項ノ場合ニ於テハ距離ノ遠近及ヒ金額ノ多少等ニ依リテ報告期間ヲ異ニスルノ必要アルヲ以テ之ヲ一定メタルコトヲ止メ相當ノ期間トセリ

第五百九十三條(五九二)

(理由) 本條ハ取得編第一百十條ノ規定ヲ採用シタルモノナリ第五百八十九條ノ規定ニ依リテ返還ヲ爲スコト能ハサルニ至ル場合ハ極メテ少ナルヘシト雖モ又決シテ之ナレト謂フヘカラス今諸國ノ立法例ヲ見ルニ既成法典ニ於ケルカ如キ規定ヲ設ケタルモノナシ然レトモ其規定ハ極メテ公平ニシテ且ツ實際ノ事情ニ適スルヲ以テ之ヲ採用セリ只ハ實際ニシテ強制適用ノ效力ヲ失ヒタル場合ニ於テハ本條ノ規定ニ依ルヘキモノニ非ラス故ニ既成法典ノ規定ヲ轉ヒテ此ニ但書ヲ加ヘタリ

第五百九十四條

前四條ノ規定ハ反對ノ定ヲ爲スコトヲ許ササル性質ノモノニ非ラス只五百八十九條ハ消滅貸借ノ性質ニ關スル規定ナルヲ以テ之ヲ除外セリ

使用貸借

(理由) 本節ニ於テハ既成法典ノ規定ニ些少ノ修正ヲ加ヘタルモノニ過キス取得編第二百一一條ハ一般ノ原則ニ依リ始ト同一ノ結果ニ至ルヘキヲ以テ之ヲ削レリ又借主ハ數人アル場合ニ於テハ適部不可分債務ヲ生スヘキヲ以テ同第二百二條ニ於ケルカ如ク特ニ連帶ノ債務ヲ認ムルノ必要ナレ又同第二百二條ニ於テ借主ノ留置權ヲ有スルコトヲ規定セリト雖モ留置權ニ關スル第二編ノ規定アルヲ以テ此ノ之ヲ明言スルノ必要ヲ見ス故ニ之ヲ削除セリ尙其他ハ削除シタル規定少ナカラスト雖モ其消除ノ理由ハ之ヲ各條ノ說明ニ譲リテ述ベス

第五百九十五條(五九二)

(理由) 本條ハ取得編第一百九十五條ニ該當ス同条ニ於テハ一定ノ時期ヲ經過シタル後ニ於テ返還ヲ爲スヲ以テ使用貸借ノ要件ト爲セリ然レトモ已ニ消費貸借ニ付キテ述ベタルカ如ク當事者カ使用ノ期間定メサル場合ニ於テ裁判所アレテ之ヲ定メシムル必要ナキヲ以テ既成法典ノ主義ハ之ヲ採用セシ又同條ニハ原物ヲ返還スヘキコトヲ記セリト雖モ荷借モ受取タル物ヲ返還スヘキコトヲ言フ以上ハ原物ヲ返還スヘキコトハ言ハスレテ自ラ明ナル處ナリトモ本案ニ於テハ債主カ使用及ヒ收益ヲ爲スノ權利ヲ有スルコトヲ示スノ必要アリト認メタルヲ以テ此ノ之ヲ明言セリ

第五百九十六條(五九三)

(理由) 本條ハ取得編第一百九十七條ニ該當ス同條ニハ貸借期間内ニ非サレハ物ノ使用ヲ爲スコトヲ

得サルコトヲ記セリト雖モ此ニ之ヲ明言スルノ必要ヲ見ス又同條第二項ハ一般ノ原則ニ依リ明ナル處ナルヲ以テ之ヲ削レリ同條百九十八條ハ使用貸借ノ無償ナルヨリシテ生ズルモノニシテ諸國ノ法律ニ於テ多ク見ル處ナリトス然レトモ第三百九十九條ノ規定アルカ爲メ特ニ之ヲ設クルノ必要ナク同條ニ依リテ自ラ公平ノ結果ヲ得ルニ難カラサルヘシ故ニ之ヲ削除セリ

使用貸借ニ在リテハ貸主ハ借主ニ特別ノ關係ヨリシテ無償ニテ物ノ使用及ヒ收益ヲ爲スノ權利ノ之ニ與ヘズルモノナルヲ以テ借主ニ於テ隨意ニ第三者ヲレテ其使用又ハ收益ヲ爲サレムルハ契約ノ趣旨ニ反スルモノト謂ハサルヘカラス故ニ本案ニ於テハ近來ノ立法例ニ倣ヒ第二項ノ規定ヲ設ケテ既成法典ノ缺點ヲ補ヒタリ

第三項ハ説明ヲ俟タサル當然ノ規定ニシテ近時ノ立法例ニ倣ヒタルモノニ外ナラス

第五百九十七條(五九四)

(理由) 本條ハ取得編百九十九條及ヒ第二百四條第二項ノ規定ヲ採用シタルモノナリ借主ハ其貸レタル通常ノ保存費ニ付キ其償還ヲ求ムルコトヲ得サルヲモナラス自ラ進レテ其費用ヲ負擔セサルヘカラス故ニ本條ニ於テハ第五百九十七條ノ規定ヲ準用スルニ止ムスレテ特ニ第二項ノ規定ヲ設ケタリ通常ノ保存費ハ非ヲサル費用ニ付キ第五百八十五條第二項ノ規定ヲ準用スヘキモノト爲レタル所以ハ無償ニテ物ヲ使用スルノ權利ヲ與ヘタル貸主ヲ保護スル爲メニ適當ノ規定ナリト信シタルニ在リ第五百八十五條ニ於テハ第五百九十七條ノ規定ニ從フヘキモノト定メタルヲ以テ借用貸借ニ付テモ亦

第五百九十七條ヲ適用スヘキコトハ勿論ナリトス

第五百九十八條(五九五)

(理由) 使用貸借ハ一ノ無償契約ナルカ故ニ擔保ニ付キ贈與者ノ責任ヲ減シタルト同シク貸主ノ爲メニモ亦其擔保ノ責任ヲ輕タスルハ至當ノ事ナリト信ス故ニ第五百九十七條ノ規定ヲ準用スヘキモノト爲レタルヲ取得編第二百四條第二項ニ於テハ消費貸借ニ關スル第五百八十一條第一項ノ規定ヲ適用スヘキモノトナシタリト雖モ其規定ハ本案ニ於テ採用セザリシモノナルヲ以テ原文ニ之ヲ削除セリ

第五百九十九條(五九六)

(理由) 本條ハ取得編第二百條第一項ニ修正ヲ加ヘタルモノナリ既成法典ハ借主カ使用ヲ終リタル場合ニ於テハ契約ニ定メタル返還ノ時期未タ到ラサルモ借主ハ返還ヲ爲ササルヘカラサルモノトナセリ然レトモ借主カ使用ヲ終リタルノ事實ハ之ヲ認ムルコト往々困難ナルコトアルニシテ若シ誤リテ使用ヲ終リタルモノト認メラルルトキハ借主ハ使用ノ目的ヲ達スルコト能ハスレテ不測ノ損害ヲ蒙ルニ至ルヘキナリ故ニ本案ニ於テハ數多ノ立法例ニ倣ヒ當事者ノ定メタル時期ニ於テ返還ヲ爲スヘキモノト爲セリ

當事者カ返還ノ時期ヲ定メサル場合ニ關スル取得編第二項ノ規定ハ前ニ述ベタル理由ニ依リテ之ヲ削除レ更ニ本條第二項及ヒ第三項ノ規定ヲ設ケタリ蓋シ當事者カ返還ノ時期ヲ定メサリレ場合ニ於テ契約ヲ以テ使用ノ目的ヲ定メタルトキハ使用ヲ終リタル時ニ於テ返還ヲ爲スヘキモノト

スルハ實際公平ニシテ且ツ當事者ノ意思ニ適スルモノトス然レモ借主ヲ使用ヲ爲ササル場合ニ於テ貸主ハ手ヲ束ネテ其使用ノ終ハルヲ俟タサルヘカラスルモノトスルハ其當ヲ得サルヲ以テ第一項ニ但書ヲ加ヘタリ若シ當事者カ返還ノ時期又ハ使用及ビ收益ノ目的ヲ定メサルトキハ一般ノ原則ニ依リ貸主ハ何時ニテモ返還ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルモノトスヘシ消費貸借ノ場合ニ於ケル如ク豫メ催告ヲ爲サシムルノ必要ナキナリ取得編第二百三條第一項ハ言フヲ俟メサルヲ以テ之ヲ削リテ同條第二項ノ規定ハ諸國ノ法律ニ見ル處ニシテ使用貸借ノ無償ナルカ爲メ設ケタルモノナルヘシト雖モ借主ハ一定ノ目的ヲ以テ物ヲ借受ケタルモノナリ依リ不時ニ之ヲ返還セサルヘカラストセハ其利益ヲ害スルコト大ナリト謂フヘシ故ニ本條ニ於テハ此ノ如キ規定ヲ採用セサルナリ

第六百條(五九七)

(理由) 本條ノ規定ハ既成法典ニ見サル處ナリト雖モ地上權ニ付キ此規定ヲ設ケタル同一ノ理由ニ依リテ之ヲ置キタリ地上權ノ場合ニ在リテハ土地ノ所有者ニ先買權ハ與メタルニ拘ハラス使用貸主ニ之ヲ與ヘサル所以ハ地上權ハ期間其他ノ點ニ於テ借主ノ權利ト大ニ異ナル所アルヲ以テ先買ヲ爲スニ付キ均シテ正當ノ利益ヲ有スルモノト見ルコト能ハサルニ在リ

第六百一條(五九八)

(理由) 本條ハ取得編第九十六條ニ該當ス借主カ死亡シタル場合ニ於テ使用貸借ノ之ニ因リ其效力失フヘキモノトスヘキニ付テハ諸國ノ立法例ニ違ヒ出デス本條ニ於テハ既成法典ノ主義ヲ至

當ト認メ之ヲ採用セリ蓋シ無償ニテ物ヲ使用ヲ爲サシムル者ハ必スヤ相手方ニ對シテ特別ノ事情ヲ有スルモノニ非サルハナレ故ニ借主ノ相續人ヲレテ物ヲ使用ヲ爲サシムルハ通常其契約ノ性質ト當事者ノ意思ニ反スルモノト謂ハサルヘカラス加之本條ノ規定ハ第九十六條第二項ノ規定ト一致スルモノト謂フヘシ

第六百二條

(理由) 第五百九十五條ノ規定ハ使用貸借ノ性質ヲ示スモノナルヲ以テ別段ノ定テ許ス性質ノモノニ非ラス之ニ反シテ前六條ノ規定ハ別段ノ定メ依リテ之ヲ變更スルコトヲ妨ケサルナリ

第六百三條(五九九)

(理由) 本條ノ規定ナキトキハ一般ノ原則ニ依リ二十年ヲ經ルニ非ケルハ時効ニ定成ヲ見ルコト能ハサルヘシ然レニ使用貸借ヨリ生ズル當事者間ノ關係ハ速ニ之ヲ結了セシムルヲ便トス加之契約ノ本旨ニ反スル使用ニ依リテ生ズル損害ノ如キハ永久ノ時間ヲ經過シタル後ニ於テ之ヲ證明スルコト難カルヘク又無償ニテ使用ヲ爲レタル借主ヲレテ多年ヲ經過シタル後ニ費用償還ノ請求ヲ爲スコトヲ得セシムルハ其當ヲ得サルモノト謂フヘキナリ